



平成 29 年 10 月 31 日

各 位

会 社 名 株式会社 神奈川銀行
代表者名 取締役頭取 三 村 智 之
(コード番号 非 上 場)
問合せ先 総合企画部主計室長 宮田 新悟
(TEL:045-261-2641)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 5 月 12 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

連結業績予想の修正(中間)

| | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する中間純利益 | 1 株当たり 中間純利益 |
|---|-------|---------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | |
| 前回発表予想(A) | 300 | 100 | 22 円 42 銭 |
| 今回修正予想(B) | 900 | 700 | 156 円 96 銭 |
| 増減額(B-A) | 600 | 600 | |
| 増減率(%) | 200.0 | 600.0 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期) | 484 | 310 | 69 円 65 銭 |

個別業績予想の修正(中間)

| | 経常利益 | 中間純利益 | 1 株当たり 中間純利益 |
|---|-------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | |
| 前回発表予想(A) | 300 | 100 | 22 円 42 銭 |
| 今回修正予想(B) | 900 | 700 | 156 円 96 銭 |
| 増減額(B-A) | 600 | 600 | |
| 増減率(%) | 200.0 | 600.0 | |
| (ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期) | 484 | 310 | 69 円 62 銭 |

(2)平成 30 年 3 月期(累計)(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

連結業績予想の修正(年度)

| | 経常利益 | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|---------------------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | |
| 前回発表予想(A) | 700 | 300 | 67 円 27 銭 |
| 今回修正予想(B) | 1,200 | 900 | 201 円 81 銭 |
| 増減額(B-A) | 500 | 600 | |
| 増減率(%) | 71.4 | 200.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期) | 929 | 618 | 138 円 65 銭 |

個別業績予想の修正(年度)

| | 経常利益 | 当期純利益 | 1 株当たり 当期純利益 |
|-----------------------------|-------|-------|-----------------|
| | 百万円 | 百万円 | |
| 前回発表予想(A) | 700 | 300 | 67 円 27 銭 |
| 今回修正予想(B) | 1,200 | 900 | 201 円 81 銭 |
| 増減額(B-A) | 500 | 600 | |
| 増減率(%) | 71.4 | 200.0 | |
| (ご参考)前期実績 (平成 29 年 3 月期) | 927 | 617 | 138 円 44 銭 |

2. 修正の理由

当行が推進している中期経営計画「地域密着かなぎんⅡ(セカンドステージ)」では主な施策として、地域に密着したお取引先の融資増加を図って参りました。その結果、融資量、資金利益ともに拡大しました。また、お客様の資産運用ニーズにお応えするため投資型商品の拡充にも注力し取扱残高が増えたことから、役務取引等利益が増加しました。

さらに、与信関係費用が減少したことなどから、経常利益、中間(当期)純利益ともに上方修正するものであります。

※上記の業績予想数値は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上